



農の教え・百姓の知恵



農は天地一体

「農は天地一体」私はこの言葉を聞いたとき、心が震えました。百姓が日ごろ感じていることを見事に簡潔に表現していると思ったからです。百姓仕事をしていると悩みを忘れ、経済を忘れ、時を忘れ、我を忘れます。天地に没入しているときは、そこに天地自然と自分しか存在していません。そこから私は「農とは人と天地自然が主体の世界」ということに気づけたのです。小さな棚田が無数に広がっていて経済活動には非効率に見える景色は、昔はそんな経済活動とは無縁な「農は天地一体」の世界を生きていたからなのです。



手仕事道具『足踏み脱穀機』

知り合いの方から、足踏み脱穀機を頂くことができました。だいぶ痛んでいるので修理が必要ですが、この脱穀機を甦らせて手仕事田んぼで使おうと思います。私たちがこうして、手仕事を中心の百姓仕事を残すのは、人と天地自然が主体の世界を忘れたくない・失いたくないからです。仕事が作業に変わり、はかどらせることが効率化に変わり、草取りが除草に変わる。一見同じように感じますが、これは人と自然との距離が離れていることを表しているように思えるのです。

百姓道具『命あるもの』

田んぼや畑と日常から接していると、生命たちが溢れかえっていることに気づきます。このような日常を暮らしていると、だんだんと生きもの以外の機械や物、道具類にも命があるだということが体に少しずつ、にじみ込んできます。以前頭では「全てに命が宿っている」ということがわかってきたものの、実際に自分自身がそういった見方ができているのだろうかと思っていました。近頃、そんな見方を教えてくれたのが田畑だということに気づき、体全身に感謝の念が湧いてきました。



道具や機械に対して「ありがとう」というリスpekトの気持ちだけは決してわすれず、投げかけようと日々を過ごそうと心がけています。

山下農園リンク集

いんすたぐらむ

更新頻度が一番高く、近況などは主にインスタグラムでアップしています。



著書「百姓語り」

著書はamazonさんから購入できるようになっています。農の世界の第一歩として、是非読んでみて下さい。



ユーチューブチャンネル

世間一般で語られている農業とは違った視点での農の見方・考え方をお伝えしています。



ホームページ

お問い合わせ
innerlightjapan@yahoo.co.jp

